としまボランティアセンターだより

2021 年 10 月号
毎月 15 日発行
Vol.301

発行： 社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会
豊島ボランティアセンター
〒170－0013　豊島区東池袋 1－39－2　区役所東池袋分庁舎 4 階
TEL　03－3984－9375　　FAX　03－3981－2946
E メール　tomonii@t.toshima.ne.jp
URL　http://toshima-shakyo.or.jp
月～金曜日　8：30～17：15（土日・祝日・年末年始は休み）

音声版は当協議会の閲覧コーナーにあります。

赤い羽根共同募金にご協力ください

「活動する時間はないけれど、地域の力になりたい」そんな方へ
募金活動にご協力いただくこともボランティア活動のひとつです。
地域で実際に活動される方も、縁の下の力持ちとして財政面から支えてくださる皆さまも、地域の大切な力です。

赤い羽根共同募金に協力するには

町会・自治会による募金や豊島区民社協の窓口で募金を受け付けています。
その他、区内に設置している募金箱や auPAY アプリから募金することができます。

【募金箱設置場所】
東部・西部区民事務所、各区民ひろば、としま区民センター、各地域文化創造館　など

※募金箱・auPAY アプリによる募金は領収書を発行できません

⇦こちらから auPAY アプリにアクセスできます。

募金の使いみち

皆様からいただいた募金は、豊島区内の保育園や障がい者支援施設など地域の福祉団体に配分され、利用者が使う備品の購入費や修繕費、宿泊研修や防災研修等に役立てられています。

～リニューアルで元気を「ますます」あとおし!!～

豊島区高齢者元気あとおし事業

豊島区高齢者元気あとおし事業（2008年10月1日事業開始）とは、概ね60歳以上の健康な区民（または豊島区介護予防サポーター養成講座修了者）のみなさんが「元気あとおし会員」となり、福祉施設等での一定の活動を通じて社会参加・地域貢献をすることを、区が支援し、「あとおし」する事業です。

高齢者自身のフレイル予防・介護予防を「あとおし」するとともに、ますます「元気」高齢者が増え、地域が「元気」になることを目的としています。

ますます「あとおし」の変更点！

変更点❶ ず～っと貯まる！永久ポイント制へ

これまであった繰り越し限度がなくなり、長期的に貯められるようになりました。

変更点❷ 手帳の有効期限がなくなりました（新しい手帳への切り替えは11月中旬頃からの予定です）

永久ポイント制に伴い、スタンプがいっぱいになるまで使い続ける仕様になりました。

変更点❸ ポイント還元の機会は毎月！

毎月、豊島ボランティアセンター窓口（予約制）で還元できるようになります。

変更点❹ いつでも新規登録できます！

豊島ボランティアセンターへ来所日をご予約ください。簡単な説明と、申込書類への記載で手続き完了（所要時間15分程度）。

豊島ボランティアセンター以外にも、高田介護予防センター、東池袋フレイセンター等でも登録手続きが可能になりますのでご相談ください。

変更点❺ より自分に合った活動先を選べるように！

施設でのボランティア活動以外に、自宅でできるボランティアや話し相手ボランティアなど、新しいプログラムを追加しています。また、より主体的に地域で活動するグループも立ち上がり、新たな活動先として登録されました。

変更点❻ 紹介ポイント新設！

ご友人やご家族を紹介し、新たに登録されると3ポイント獲得！

※現会員の皆さまへは 10 月下旬頃に個別にご案内いたします。新しい手帳への切り替えまでは、令和２～３年版のポイント手帳（グリーンの表紙）をご活用ください。

コラム
日本の寄附の軌跡

奈良時代、東大寺の大仏建立の為の寄附である「勧進（かんじん）」、江戸時代に始まった「感恩講（かんのんこう）」、「社倉（しゃそう）」・「義倉（ぎそう）」、「頼母子講（たのもしこう）」・「無尽講（むじんこう）」といった、共助・互助の助け合いの寄附の仕組み、明治時代の「慈善活動」・「社会事業」や「義援金」という形での寄附、大正時代には国家的事業や、国の教育制度など国が行う制度そのものの中にも寄附の仕組みが組み込まれてきました。

戦後（昭和 21 年）の GHQ が出した覚書により、民間社会事業に対する公費助成が禁止され、これは憲法にも引き継がれました。この問題を解決するために、昭和 22 年に共同募金運動が始まりました。民間の社会福祉事業を支える資金を寄附で集めるために「国民たすけあい運動」として実施され、この運動が皆さんご存知の「赤い羽根共同募金」となり、寄附の仕組みとして広く知られるようになりました。

日本には寄附文化がないと言われることもありますが、実はこうした寄附の軌跡が日本にもあり、令和の時代の新しい寄附の仕組みへとつながっています。

ボランティア募集！

活動までの流れ

施設・団体での活動の場合

①活動を希望する「連絡先（担当者）」へ直接連絡を入れる。
②質問事項等があれば事前に伝え、面接日等の確認をする。

個人の場合

①当センターで、職員から詳細説明を受ける。
②職員が顔合わせの日程調整を行う。
③職員同席のもと、募集者と直接会って、活動内容の確認や今後の予定等について話し合う。
④話し合いが終了したら、お互いの連絡先を交換して終了。
（以降、連絡は直接行う）

＜個人＞

O・Wさん

（70代女性、南長崎3丁目在住）

身の回りのお手伝いをしてくれる方を募集しています。現在、一人で住んでおり、自立しておりますが、パーキンソン症候群があるため、物をとったりお茶をいれたりなどのちょっとしたお手伝いと、できたら家の中の移動の時に転ばないよう見守りをしてくれる方がいるとうれしいです。お花が好きなので、お花の話をしながら過ごしませんか？少しでも興味・関心のある方はご連絡ください。

▼内容：日常生活での手助け、話し相手、見守りなど。たまにお散歩の付き添いをお願いすることもあるかもしれません。
▼日時：いつでも。
▼活動場所：自宅
▼対象：特にはないですが、女性の方・近くに住んでいる方・お世話好きな方歓迎。
▼問合せ先：当センター
TEL　03-3984-9375　FAX　03-3981-2946
Eメール　tomonii@t.toshima.ne.jp

いんふぉめ～しょん ～information～

＜イベント・講座＞

としま・にほんご・フレンズ

「にほんごオンライン教室」生徒募集！あたらしい日本語教室がスタートします。日本語をたくさん使って、たのしく話しましょう。日本語を気軽に使いたい！時間がないから家で勉強したい！いろいろな人となかよくなりたい！

▼内容：Zoomで、自分のことを話す練習をします。
ボランティアや大学生と話します。
▼日時：11月6日～12月25日毎週土曜日14:00～15：30 8回
▼条件：豊島区やその近くに住んでいる人・オンライン環境を用意できる人・18歳以上
▼持ち物：教材は毎週メールで送ります
▼場所：Zoom
▼参加費：無料
▼対象：初級レベル
（日本語がすこし話せる・ひらがなが読める）
▼定員：10名
▼申込期間：申込が早い人からうけつけます
▼問合せ先：としま・にほんご・フレンズ
担当：佐久間
Eメール　toshima.nihongo.friends@gmail.com
URL https://toshima-nihongo-friends.jimdosite.com/
申込フォーム　https://bit.ly/3lPndVM

クラフトマスクで地域をつなぐプロジェクト

手づくりのマスクを募集し、必要な方にお渡しするプロジェクトです。今後も、まだまだ募集中です！
▼募集内容：洗濯のできる素材の手作りマスク
▼方法：窓口に持ち込みもしくは郵送等
▼問合せ先：豊島ボランティアセンター　03-3984-9375

○その他の手づくり活動紹介　～サロン寿～

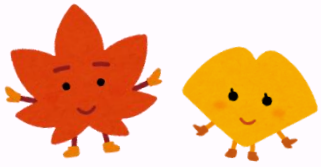
「サロン寿」は、地域の高齢者の交流サロンとして活動しています。このコロナ禍で自分たちにできることはないか考え、縫い物が得意な方も多くいたことから、雑巾を手づくりし、地域の小学校や子どもスキップに寄附をすることにしました。
小学校・子どもスキップでは、施設利用後の消毒作業時に使用され、とても喜ばれています。

▲CSW(左)と池袋第三小学校副校長先生(右)
コロナのためCSWが代わりにお届け

令和３年度　精神保健福祉ボランティア入門講座のご案内

この講座は、精神障害を少しでも知り、知ったことがボランティア活動につながるきっかけになってもらえたらと企画しています。この入門講座で、精神保健福祉について様々な角度から学びます。

10 月 8 日(金)に第 1 回目の講座を行い、第 2 回目を下記のとおり予定しております。まだ、お申込できますので、ご興味がございましたら、当センターまでご連絡ください。



日　時：１１月１３日(土)１４：００～１６：００　　定員 １５人

会　場：としま区民センター　5F 会議室 503(東池袋 1-20-10)

内　容：〇講演会：「精神障がい者も地域を支えること/精神障がい者と地域を支えるということ」
〇交流会：ボランティア講座参加者 OB も参加します。
楽しくおしゃべりしながら、ボランティアについて聞いてみましょう。

講　師：石村徹さん他「ピアなかまのわ」の皆さん、田中洋平さん(地域生活支援センターこかげ)

資料代：200円

締　切：11月12日(金)
※定員を超過した場合のみ、こちらからご連絡いたします。

申込先：豊島ボランティアセンターまで
※新型コロナウィルスの影響により、中止となる場合がございます。

第１回目　10/8 の様子

▲講師の石村ご夫妻(中央･左)と田中さん(右)

▶関わり方についてお話をする、実行委員としまコスモスの会

～交流会では～

「どのように声かけし、関わっていくと良いか？」「ボランティアとして一緒にいるってどういうこと？」などの質問がありました。

講師の石村さんや実行委員が実体験をふまえてお答えしていました。

使用済み切手・書き損じハガキのご寄付ありがとうございました！！

＜9 月受付：8/26～9/25 受付分＞　22 件 2,392ｇ

桑原裕子、渡辺郁子、髙原泰子、島田照雄、神谷教美、新津道子、
宝光寺、折戸千歳会、としまNPO推進協議会、バイオメカニズム学会、(株)光通信、
池袋西地区民生委員児童委員協議会、明治大学校友会豊島区地域支部、巣鴨駅前郵便局、
区役所（障害福祉課、税務課）、
匿名6名　　※敬称略・順不同

ボラセン閲覧コーナー
今月のイチオシ！！
「40 歳からの健康週間」